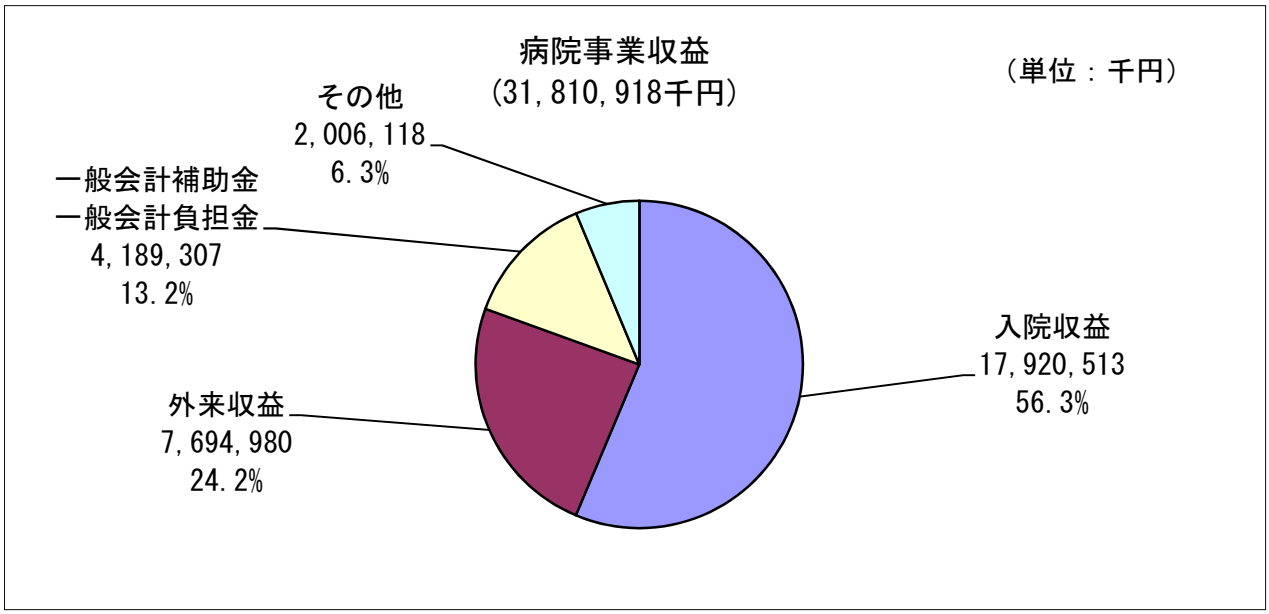
名古屋市病院事業会計　平成29年度決算の概要

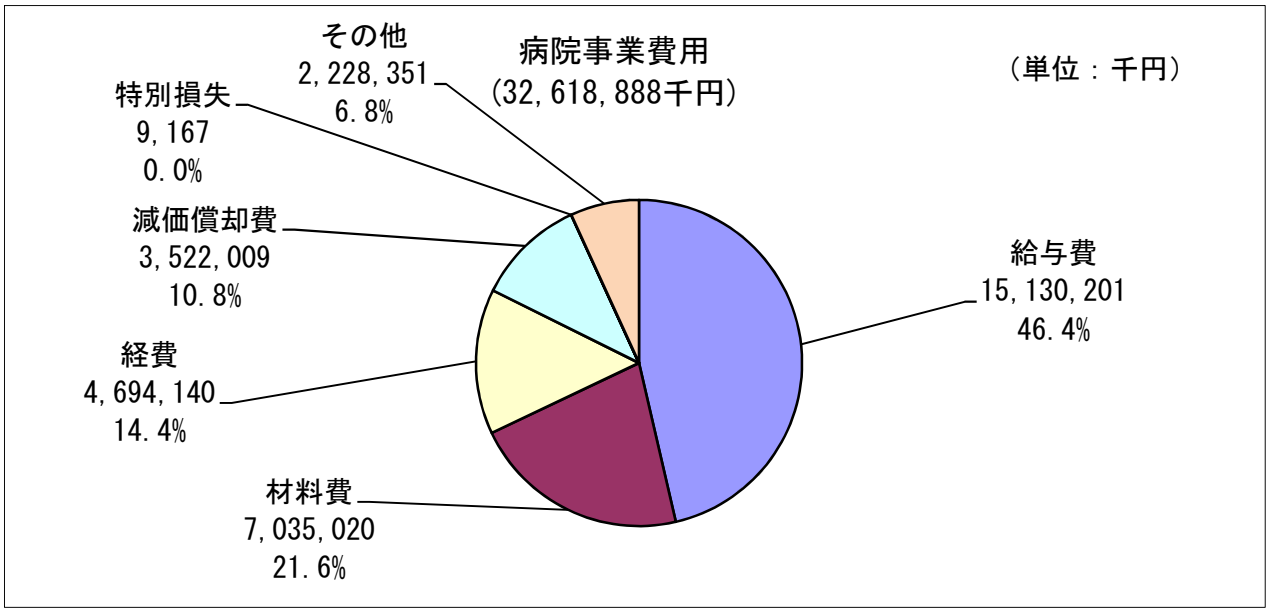
1　病院事業全体の収支

名古屋市病院事業は、東部医療センター、西部医療センター及び緑市民病院（指定管理者による運営）の３市立病院を設置し、市民の皆さまに医療の提供を行ってまいりました。

平成29年度における病院事業会計の収益的収支は、総事業収益は、前年度に比べ医業収益が増加したことなどに伴い、 2億 4千 6百万円余増の 318億 1千万円余であるのに対し、総事業費用は、材料費が増加したことなどに伴い、 4億 3千 1百万円余増の 326億 1千 8百万円余となりました。その結果、8億 7百万円余の当年度純損失となり、当年度未処理欠損金は95億 9千 2百万円余となりました。

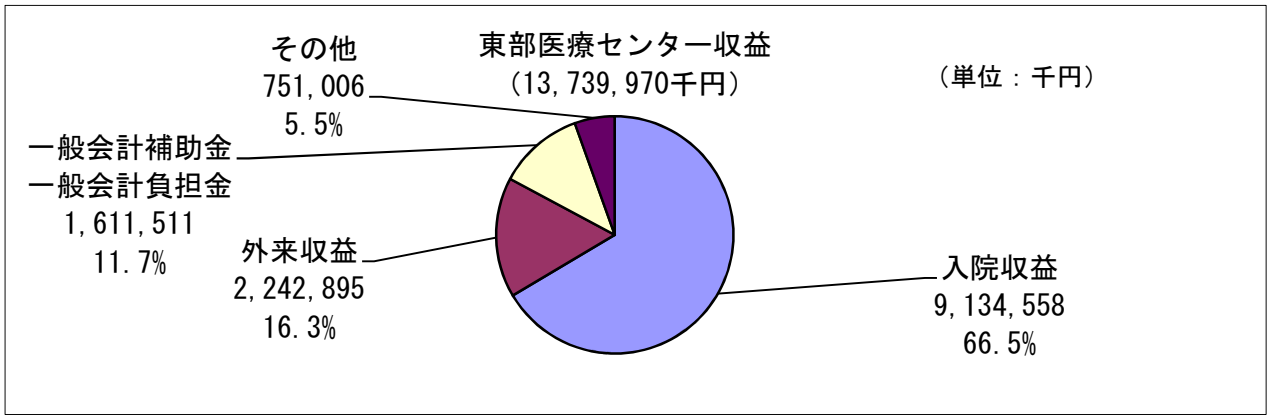
平成29年度は主な建設改良事業として、東部医療センターでは病棟改築工事、西部医療センターでは病歴管理室改修工事を行い、東部医療センターの超音波画像診断装置、西部医療センターの病院情報システム、緑市民病院の放射線検査機器など、各病院の設備充実にも努めました。

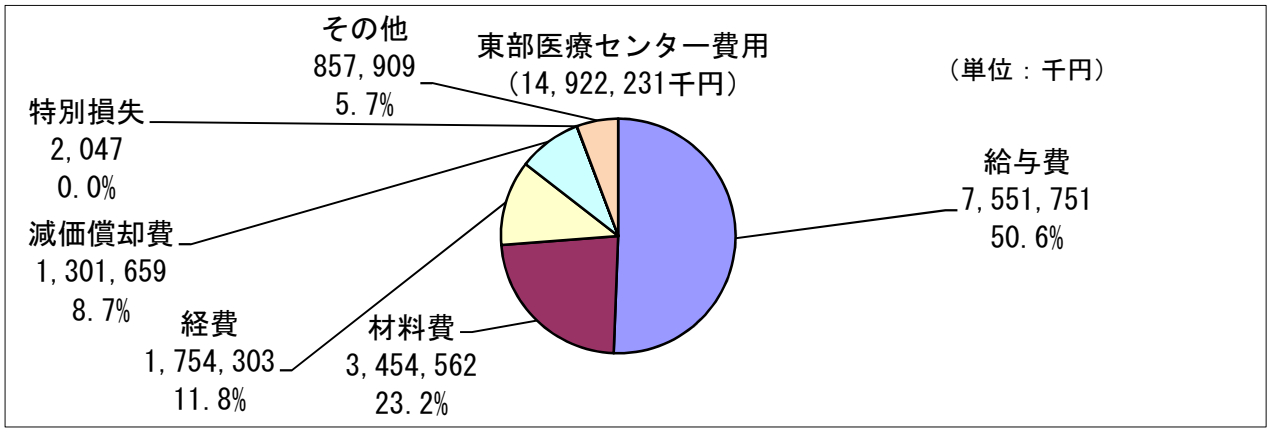




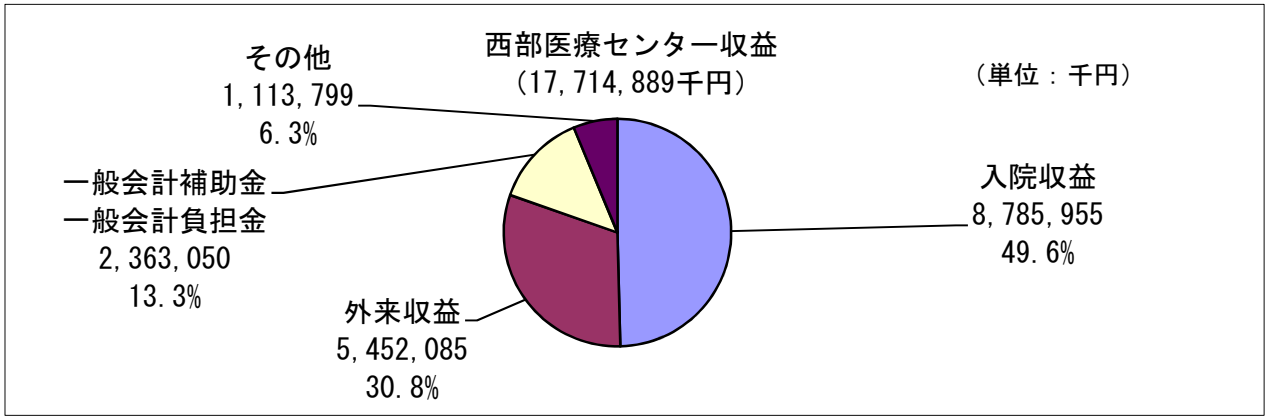
2　各病院の収支

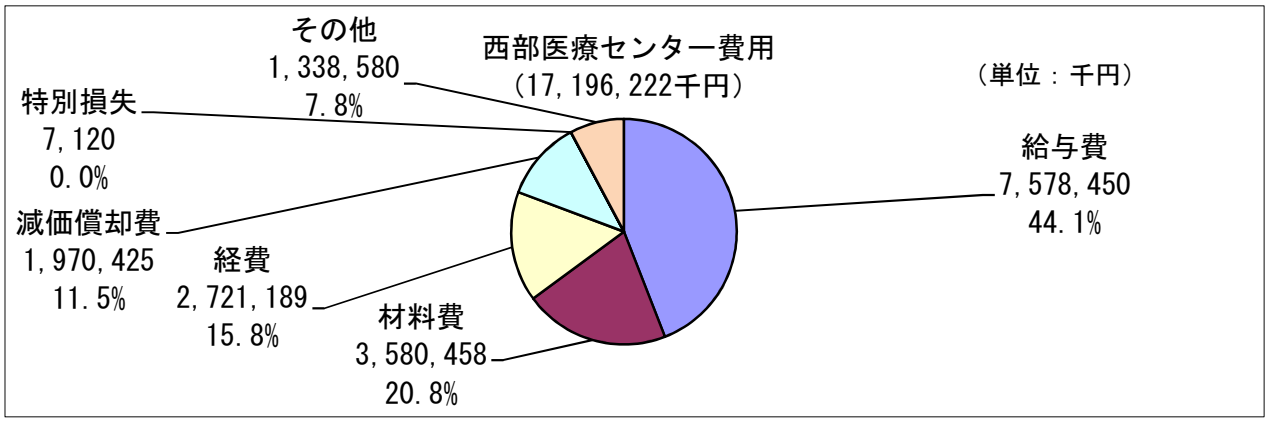
(1) 東部医療センター



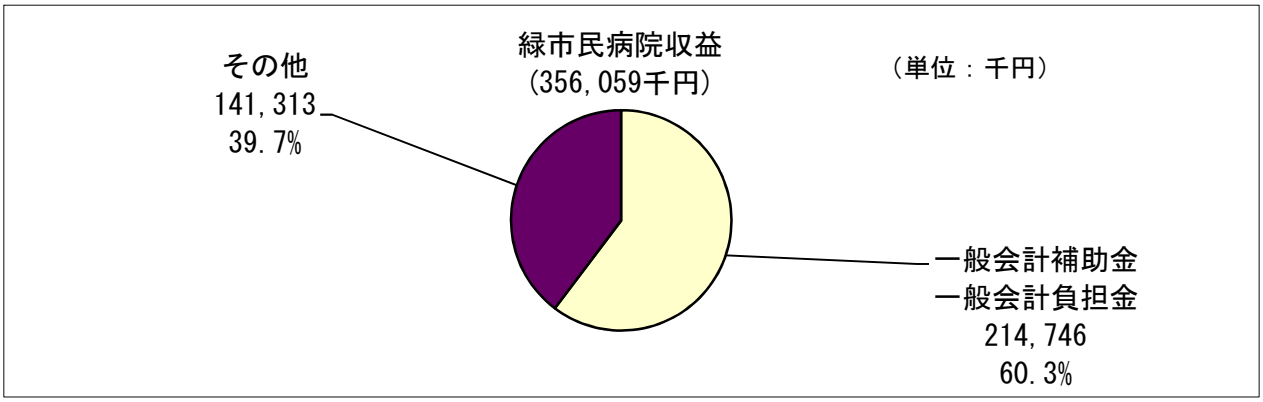


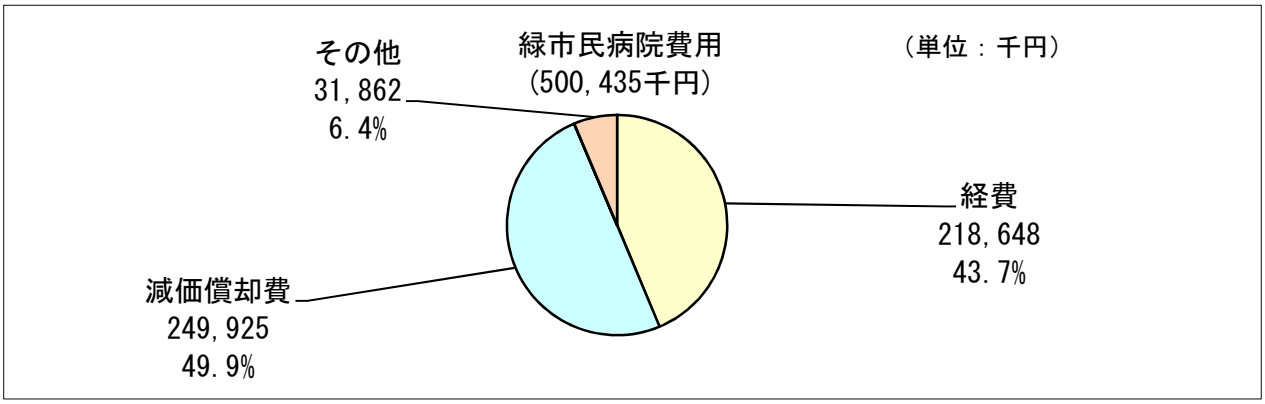
(2) 西部医療センター





(3) 緑市民病院


緑市民病院収益
(356,059千円)
（単位：千円）
その他
141,313
39.7%
一般会計補助金
一般会計負担金
214,746
60.3%


緑市民病院費用
(500,435千円)
（単位：千円）
その他
31,862
6.4%
経費
218,648
43.7%
減価償却費
249,925
49.9%